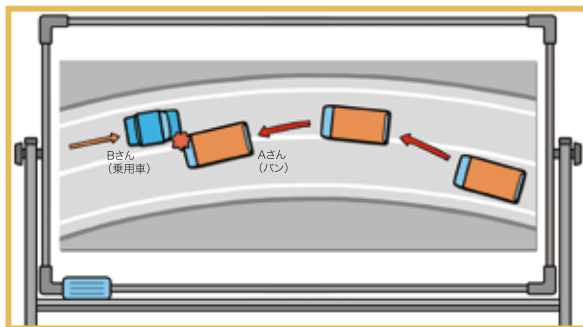


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に  
至るまでの  
状況

まだ暗い早朝、Aさん(男性、バン、40代)は、仕事仲間と仕事場に向かっていました。Aさんは道路が左にゆるくカーブしていることに気づかず、中央線をオーバーしてしまい、前方から来たBさん(男性、乗用車、40代)と正面衝突してしまいました。衝突直前の速度が法定速度をオーバーしていたため両方の車は大破。Aさんとその仲間は骨折などの重傷を負ってしまい、Bさんも頸椎捻挫を負ってしまいました。

事故現場  
略図



## 事故の原因

Aさんは、いつも同じ時間にこの道路を通っており、早朝のためほとんど対向車はありませんでした。そのためつい油断してしまい、事故が起きた日も缶コーヒーを飲みながら、煙草を吸いながら、といった「ながら

運転」で前方をよく見ていませんでした。それが原因で、道路が左にカーブしていることに気づかず、真っすぐ進んでしまい、中央線をはみ出ってしまったと考えられます。

## 安全運転に向けて指導のポイント

正面衝突事故は、その衝突エネルギーの大きさから被害が甚大になる傾向があります。正面衝突時のドライバーの人的要因は、「漫然運転」や「脇見運転」

などが多くなっています。油断せず、つねに気を引き締めてハンドルを握るように指導しましょう。

## 今月の安全メモ！

- ・油断大敵、つねに気を引き締めてハンドルを握るようにしよう！
- ・「ながら運転」は絶対しない、つねに運転に全力を尽くそう！